



令和 3 年 12 月 1 日

午前 午後 12 時 00 分 受領

No. 1

令和 3 年 12 月 1 日

議長	事務局長	係

愛南町議会議長 原田 達也 殿

愛南町議会議員

吉田 茂生

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

( 答弁一括方式 ・ 答弁分割方式 )

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1. 救急搬送の現状について</p> <p>救急業務は、町民の生命・身体を事故や災害、疾病等から守り、安心・安全な社会を確保するものであり、町民にとって必要不可欠な行政サービスです。近年、医療の進歩とともに、傷病の発生初期に実施すると効果的である医療技術が発達し、救急搬送における病院選択から医療機関による救急医療の提供までの一連の行為を円滑に実施することが、傷病者の救命率の向上及び予後の改善等の観点から、重要な課題とされています。又、高齢社会の到来による高齢者の搬送件数の増加や、生活習慣病による心筋梗塞や脳卒中などの重篤患者の増加、救急車をタクシー代わりに利用するようなモラルの低下など、社会状況の変化にも関係した問題等も挙げられています。愛南町のホームページにも愛媛の救急医療を守る県民運動“愛救県民運動”が掲載されています。救急搬送の活動において迅速な救急搬送は、より多くの人々の生命を救うために不可欠です。特に愛南町の場合、3次救急医療を担っている病院がありません。そこで、救急搬送の現状についてお伺します。</p> <p>(1) 愛救県民運動の取組についてお聞かせ下さい。</p> <p>(2) 救急隊の現場対応についてお聞かせ下さい。</p> <p>(3) 南海トラフ地震や台風等災害時の救急搬送対応についてお聞かせ下さい。</p>	町長

## 2. 空家バンクへの登録増加による移住・定住推進について

町長

9月の定例会議で『移住・定住政策について』一般質問させて頂きました。その後、愛南町の移住に関するホームページの内容が更新され、『魅せられて愛南』が掲載され、岡江久美子さんの遺作が紹介されています。迅速な対応でホームページも随分よくなったと思います。又、数少ない空家バンク登録物件の売買が成約されたり、交渉中となっている物件もあり、人口減少に大きく貢献しているようで、地域住民にとって朗報ではないでしょうか。この成功事例を共有するとともに、「愛南町空家対策計画」の“空家等に関する総合的な対策”の基本方針で“定住・移住の促進”や“地域住民との協働”等が明記されており、安全、安心、快適で活気ある地域づくりのため、効果的な空家対策を講じていくことを基本理念としています。そこで、空家に関する総合的な対策を講じながら、空家バンクへの登録を増加し移住・定住政策の更なる推進を実行するための施策等についてお伺致します。

(1) 空家バンクの売買成約及び交渉中の移住予定者の情報を開示できる範囲内でお聞かせ下さい。

(2) 愛南町移住体験ツアー（2022年1月8日～10日）についてお聞かせ下さい。

(3) 今後の移住・定住政策についてお聞かせ下さい。